



第三回
こがねい

春の能

能
忠
度
川口晃平



イラスト・かわぐちかいじ

令和四年 二月十九日(土) 午後五時開演(午後四時開場)

会場 小金井宮地楽器ホール



能楽師 川口晃平「こがねい 春の能」
YouTubeチャンネルにて
能「忠度」の解説動画を公開中



YouTube



Instagram



facebook



Twitter

主催 こがねい春の能実行委員会

令和四年 二月十九日(土)午後五時開演

会場 小金井宮地楽器ホール

番組

解説 川口 晃平

仕舞

雲林院 津村禮次郎
網之段 梅若 紀彰

狂言 蝸牛

山伏 山本 則秀
主人 山本 則孝
太郎冠者 山本泰太郎

能忠度

(休憩 十五分)

漁翁 平忠度の霊 川口 晃平
旅僧 御厨 誠吾
所の者 山本 則重
笛 一噌 隆之
小鼓 鶉澤洋太郎
大鼓 亀井 広忠
後見 津村禮次郎
地謡 小田切康陽
梅若 紀彰
角当 直隆
山中 透晶
谷本 健吾
内藤 幸雄
土田 英貴

(午後七時半頃終演予定)

こがねい春の能 川口晃平

武蔵小金井は歌川広重の「富士三十六景」にも玉川上水の桜が描かれるなど、江戸の昔より景勝の地でした。また、小金井の名の通り、多摩川段丘のはけの下より湧く豊富な地下水は、遠く縄文時代より人々の暮らしを潤してきました。

私はこの小金井に生まれ育ち、時代が流れても変わらないものがあることを教わり、その何かに惹かれるような人間になった気がいたします。そして私が大学時代に出会い一生の仕事と決めた能は、正に古代から未来まで変わらぬ人の心、自然や神々の世界を題材にして、遙かな年月受け継がれてきた伝統芸能です。

水清く花咲く小金井の春ごとに、能を一番ずつ大切に演じていければと「こがねい春の能」を立ち上げました。当日は現代の能楽を代表する共演者の方々にお力添えをいただき、舞台を勤めさせていただきます。

また、今回はアーティストの阿部朱華羅さんに、当日の舞台背景の美術をお願いいたしました。演能に先立ちまして、初心者の方にも分かりやすく楽しんでいただけますよう、解説をいたします。



川口 晃平 シテ方観世流能楽師。梅若会所属。小金井市出身。昭和五十一年生まれ。漫画家かわぐちかいじの長男。慶應義塾大学在学中に能に魅せられ能の道を志す。卒業後、五十六世梅若六郎(現四世梅若実)に入門、復曲能「降魔」にて初舞台。独立後、「石橋」「狸々乱」「道成寺」「望月」を披く。緑龍会、三人の会を主催。



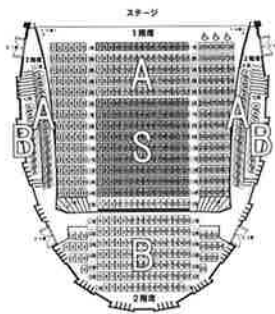
津村禮次郎 シテ方観世流能楽師。緑泉会代表。重要無形文化財(能楽総合)保持者。昭和十七年北九州市生まれ。一橋大学在学中に女流能楽師の草分け津村紀三子に師事、その後先代観世喜之に師事。定例公演「緑泉会例会」のほか、小金井新能は今年四十回を迎え、佐渡での活動も三十数年継続。



阿部朱華羅 SCARA 美術家・墨絵師。森羅万象の声を感じ地平天成を祈り日本古来の美と魂×宇宙を表現し未来へ繋ぐ。国際コンペにて日本代表作品に選出パリルーブル美術館内の世界大会に参加などヨーロッパ各地・ニューヨーク等、国内外で受賞・招待展示多数。森と和文を愛しむツナグの森企画主宰。

能「忠度」あらずし

もと歌人藤原俊成に仕えていた人物が出家し、西国行脚を思い立ちます。須磨の浦に立ち寄ると、一本の桜の木のもとに一人の老人が現れ祈りを捧げていました。旅僧は老人に話しかけているうち日が暮れたため、一夜の宿を頼みます。老人は平忠度の歌を引き、木陰を宿にするよう勧め、この桜は忠度の墓標であるから、回向してほしいと頼みます。僧が回向すると、自分が忠度の幽霊であると仄めかし、花の陰に消えていきました。夜半、僧の夢に忠度の亡霊が現れ、「詠み人知らず」として千載集に載る自分の歌に、作者名を入れるよう、俊成の子の定家に伝えてほしいと僧に頼みます。その後、忠度は、平家の都落ちの際、俊成に自作の和歌を託し西国へ逃れたこと、一の谷の合戦にて岡部六弥多を組み伏せるも、郎等に右手を切り落とされ討ち死にした様子を見せます。そののち、六弥多が亡骸の籠に短冊を見つけ読めば「行き暮れて木の下陰を宿とせば花や今宵の主ならまし 忠度」と書かれていたのを見て、文武二道に名高い公達、忠度卿であったのだと知り涙を流したことを語ると、このことをあなたに伝えられたのだと僧に回向を頼み、忠度の霊は桜の木の下へと帰っていききました。



小金井 宮地楽器ホール
J R武蔵小金井駅南口徒歩一分

【お問い合わせ】

こがねい春の能実行委員会
070-6422-1532
harunonoh@gmail.com



【事前講座】

公演の見どころ等をお話いたします
日時：1月31日(月)午後7時より
会場：宮地楽器小ホールにて
予約：実行委員会までご予約下さい
費用：1000円(チケットをお持ちの方は無料)

【チケット 令和3年11月22日発売】

カンフェティチケットセンター
0120-240-540(無料通話・平日10時~18時)
http://confetti-web.com/harunonoh/

- ・1階 指定S席 6000円
- ・1階2階 指定A席 5000円
- ・2階 自由B席 3500円
- ・学生席(自由席) 2000円

※受付にて学生証を拝見いたします。

